

— 新システムについて —

総合情報処理センター 車古 正樹

今年度総合情報処理センターになり、予算の増額も認められ、システムを拡張することとなりました。主な拡張点と特徴は以下のようなものです。

1. UNIX専用機の設置

- ・主記憶装置 96MB
- ・磁気ディスク装置 10GB

UNIXユーザの方は、計算サーバやファイルサーバとして利用できます。また、大量出力を行う場合にセンターの高速レーザプリンタが利用できます。

2. 高速カセット・レーザプリンタの設置（汎用機用）

- ・センタ内 125枚/分（A4サイズの場合）
- ・図書館内（角間地区） 50枚/分（A4サイズの場合）

センターでは、従来のレーザプリンタの2倍程度の速さで出力可能となります。角間地区の利用者も図書館で高速レーザプリンタに出力が可能になります。

3. 回線の高速化

- ・センタと角間地区間を384Kbpsから3Mbpsに変更
- ・センタと宝町地区間を192Kbpsから384Kbpsに変更

イーサネットで接続された端末との通信が角間地区では6倍に、宝町地区では2倍に高速化します。

4. 実習室の新設

- ・宝町地区に実習室を設置し、端末20台を配置
- ・角間地区に実習室を設置し、端末25台を配置

実習が全ての地区で可能となります。

5. エミュレータ及び文書処理用にEWSを増設

- ・丸の内地区、宝町地区及び角間地区にそれぞれ1台設置
- ・主記憶装置 32MB
- ・磁気ディスク装置 660MB
- ・レーザプリンタ 480BPI

文書処理が全ての地区で可能となります。また、各地区の利用者が地区毎にエミュレータ（F CAT）を利用することにより、同時利用者数の増大と、レスポンスタイムの短縮が可能となる。

6. 汎用機の増設

- ・主記憶装置を96MBから128MBに

・磁気ディスク装置を 30GB から 40GB に

利用者増の対応が可能となります。また、夜間JOBのサイズの拡張が可能となります。

上記のシステム概念図を図1に、簡易ネットワーク図を図2に示す。

現在何ができるか

当センターで現在利用できるものについて、以下に簡単に説明します。

1. 各種言語によるプログラミングが可能です。

☆汎用計算機 FORTRAN77, PL/I, PASCAL, COBOL, C, LISP, PROLOG等が利用できます。なお、科学用数値計算ライブラリと図形処理基本機能ライブラリが利用できます。

☆UNIX機 FORTRAN77, CLISP, PASCAL等が利用できます。なお、科学用数値計算ライブラリと図形処理基本機能ライブラリが利用できます。

☆パソコン FORTRAN, C, BASIC, PASCAL等が利用できます。

2. 統計処理が簡単におこなえます。

☆汎用計算機でSAS, ANALYSTが利用できます。両パッケージ共に簡易図形処理機能があります。

3. 図形処理が簡単におこなえます。

☆汎用計算機でSAS, ANALYSTによる図形処理やGRAPHMANによる会話型図形処理が利用できます。

4. 高品質の文書作成が可能です。

☆汎用計算機 英文清書システム(ATF), 文書処理(ODM), 複合文書処理(DOGRACE)等が利用できます。

☆UNIX機 複合文書処理(AUGAST), 文書処理(TEX)が利用できます。

5. データベース検索が可能です。

☆汎用計算機 金沢大学図書検索(OPAC)や核酸データベース等が利用できます。

☆学外計算機 汎用計算機を経由して、学術情報センター、共同利用大型計算機センターのデータベースが利用できます。

6. 電子メールが利用できます。

☆汎用計算機 学内のメール及び電子掲示板(MSPNET)や、国内外とのメール(BITNET)交換ができます。

☆UNIX機 学内外とのメール(JUNET)交換が可能です。

7. スーパーコンピュータが利用できます。

☆学外計算機 共同利用大型計算機センターの計算機を汎用計算機を経由して利用できます。

8. 簡易型ネットワークに加入できます。

☆イーサネット イーサネットにEWSやパソコンを接続すると、研究室から、センターの利用、学外の計算機の利用、他の研究室との通信が可能となります。

☆スター型 モデムをパソコンに付加すると、研究室や家庭からセンターの利用、センターを経由して学外の計算機やイーサネットと接続されたEWS等の利用ができます。なお、各地区の電話交換機とセンターの交換機が専用線でそれぞれ2回線接続されていますので、電話料金は不要です。

今後の計画

総合情報処理センターとなり、今後、利用者に対するサービスの一層の充実を計る必要があります。主なものを以下に挙げます。

1. 料金の改定

現行の料金を値下げする。

2. 教育実習の充実

教育実習が行われていない学部に対してセンターで希望する学生に教育を行う。

技官の返還が行われたならば、大規模な実習（30人以上）に対しての実習補助を行う。

3. LANのサポート

KAINS（金沢大学統合情報ネットワーク）の構築が完成するまで、LANのソフト的なサポートの充実を計る。例えば、メールシステムの充実や、ファイルサーバ、プリントサーバ等を提供する。

以上、簡単に説明してきましたが、総合情報処理センターの充実を目指して一層努力していきたいと思えます。

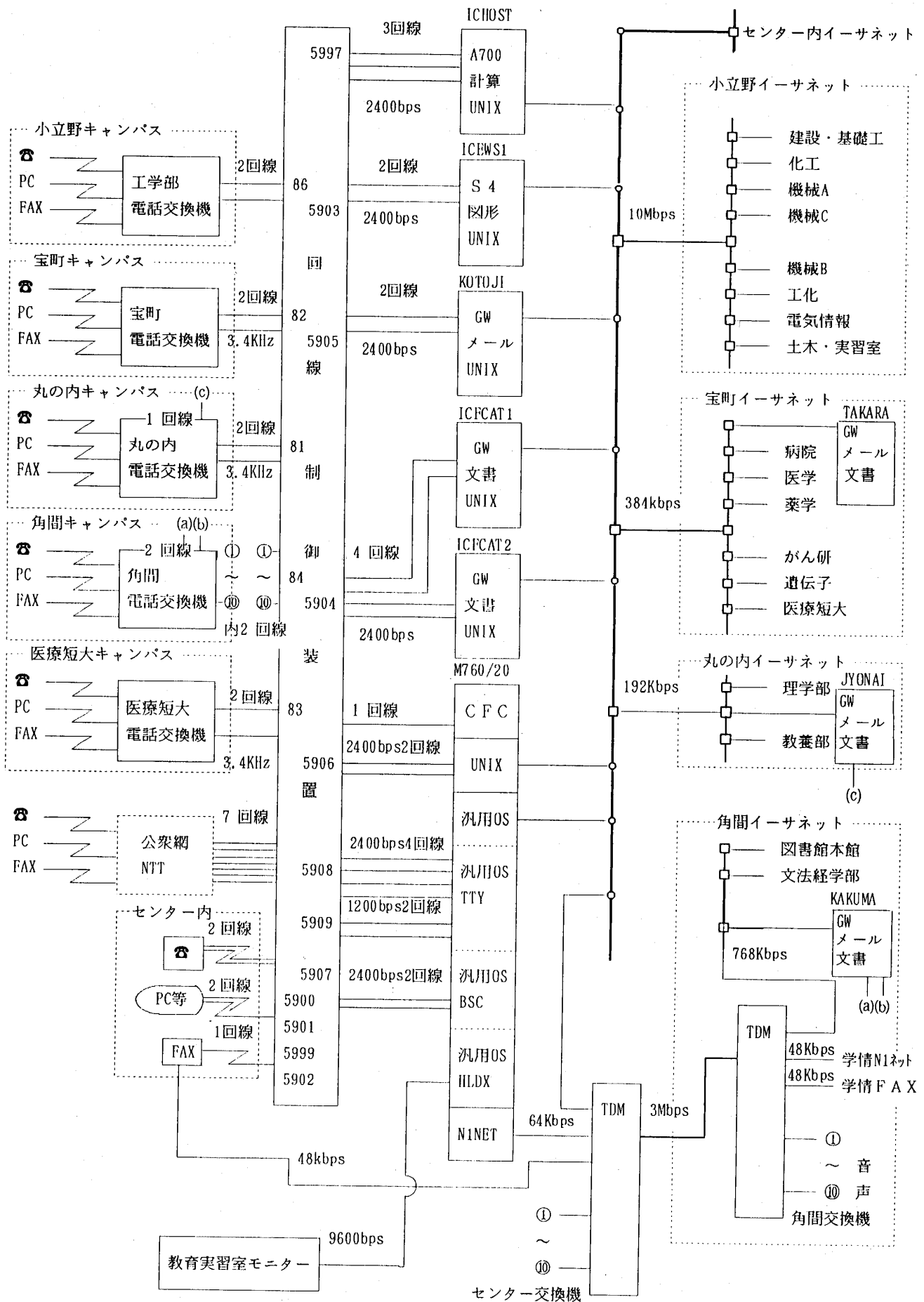


図2 金沢大学総合情報処理センターネットワーク（スター型）構成図